

ODA**特定非営利活動法人
沖縄県脊髄損傷者協会****しゃりん
118号**

編集：NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会 TEL & FAX. 098-886-4211（平日9:30～17:30）
〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1 西棟2階 ボランティア小規模団体室
E-Mail office@okisekikyo.com facebook https://facebook.com/okisekikyo
HomePage http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/ 発行：沖縄県身体障害者福祉協会

脊損、特に頸損にとって、社会参加や就労する際には「IT」の活用は必然と言ってもよいと思います。沖脊協では2013年にNPO法人化した大きな目的に「福祉サービス事業を担って、高位頸損や重度障がいの方々の生活力を高めたい!」としました。その目標を目指した準備として、今日までの2年間で障がい者のITに関する学びや活用支援の事業など様々な取り組みを行い、行政や関係者にも一定の理解浸透が図られたと思っています。しかし、最終目標



“ITで可能性の扉を開きたい”が目標 10月から大きく踏み出します！ 会員の皆さんの応援をお願いします

のSOHO（在宅ワーク）の機運や施策環境はまだまだ足踏み状態です。

そこで、脊損者のみならず多くの重度障がい者が集える「拠点づくり」を図りながら、共に事業を作り上げていく仲間を広げたいと考え、障害者総合支援法に基づく「障がい者就労継続支援A型事業所」を開設するべく今年度の事業計画・予算を組んでいました。現在10月1日開所に向けて急ピッチで準備中です。事業所の名称を「障がい者ITサポートおきなわ」とし、ITに特化した事業を目指します。

概要は下記の通りですが、会員の皆さんにキチンと説明するために事業説明会を開催します。どんなに重度でも就労や社会参加に関心がある方はぜひ参加してください。

すぐには在宅就労とはいきませんが、1年以内には何らかの形にしたいと考えています。正直なところ、将来の見通しがキチンとある状況ではありません。パイオニアとして、動かなければ変わりません。変えたいんです！会員みんなの応援をよろしくお願いします！

障がい者就労継続支援A型事業所

障がい者ITサポートおきなわ 事業概要

開所日：2015年10月1日

所在地：浦添市内間5-4-1（ハウジングシーサー101）（2ページ目に地図記載）

勤務：基本時給700円で1日5時間以上目安に週20～38時間の勤務を予定

スタッフ（利用者）：定員20名 ※利用者が講師や職員にもなります

業態：ホームページ制作・管理、横断幕・ポスター印刷、写真・名刺等データ化、文字起こし、データ入力、パソコン講習（集合型、遠隔型）

会員向け説明会開催内容

障がい者ITサポートおきなわの事業説明会を下記の内容で開催します。少しでも興味があればぜひご参加ください。

日時：2015年9月5日(土) 14:00～16:00

場所：事務所開設場所

浦添市内間5-4-1（ハウジングシーサー101）

電話：098-886-4211

メール：office@okisekikyo.com

※人数が多い場合は会場を変更する場合がありますので、お申し込みは必ず電話またはメールにてお願いします。事前の問い合わせなど、どんなことでもかまいませんのでお気軽にご連絡ください！



環状2号線沿いにある北大地築地本店前の十字路を北へ行き、400メートルほど進んだ左側に見えます。途中、右側に浦添消防署内間派出所や左側にファミリーマートが見えます。信号は2つ通過。当日は先導員が待機します。

沖縄フェニックス優勝返り咲き ～ツインバスケット九州選手権～

6月27日からの2日間、豊見城市民体育館にて第27回九州車いすツインバスケットボール選手権大会が開かれました。大会は8チームのトーナメント戦。沖縄フェニックスは危なげなく2試合を勝ち進み、決勝戦では熊本マウゴッツを大差で引き離して4度目の優勝を勝ち取りました。

大会中は選手の家族や親戚がたくさん応援に訪れたり、普段は会うことがない沖縄協会の会員さんの応援があったりと、地元開催ならではの雰囲気の中、良い結果を出すことができました。応援ありがとうございました。（砂川）

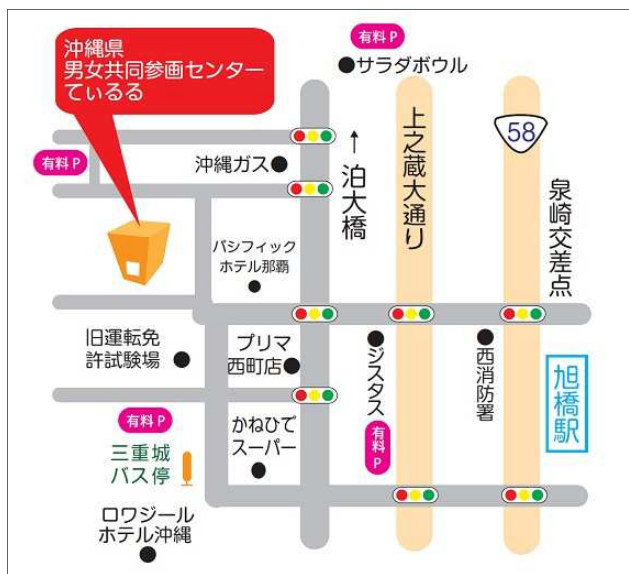


第39回九州ブロック会議沖縄大会開催

毎年九州各県で持ち回りで開催している、全国脊髄損傷者連合会の九州ブロック会議を今年は沖縄で開催します。会議前には沖縄リハビリテーションセンター病院から、九州からは代表的な脊髄損傷者の治療・リハビリ施設である総合せき損センターや別府重度障害者センターからOTやPTを招いて、九州地域における脊髄損傷者の急性期治療やリハビリテーションについてのシンポジウムを開きます。



なお、18時半からの懇親会は沖脊協の会員と支部委員との懇親会を開きます。今年度は忘年会 or 新年会は開催しない代わりに懇親会をく予定ですので、この機会にぜひご参加ください。また会場について、17:20会議議事までは「ている」で、懇親会は「パシフィックホテル」へ場所を移動しますが、同時に駐車場も移動が必要ですのでご了承ください。



開催日：10月3日（土）

場所：男女共同参画センターている
（那覇市西3-11-1）

スケジュール：

- 9：00～ 受付開始
- 9：30～ 9：55 開会式
- 10：00～12：20 公開シンポジウム

テーマ：「九州地域の脊髄損傷リハビリテーションを考える」

コーディネーター 安田知子氏（琉球リハビリテーション学院理学療法学科講師）

シンポジスト

- 渡辺良一氏（独立行政法人労働者健康福祉機構 総合せき損センター作業療法士）
- 浅野圭司氏（国立リハビリテーションセンター-自立支援局 別府重度障害者センター理学療法士）
- 安村勝也氏（医療法人タピック沖縄リハビリテーションセンター病院作業療法士）
- 仲根建作（特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会）

12：30～13：30 昼食

13：30～17：20 会議議事

18：30～20：30 パシフィックホテルにて夕食・懇親会（一人5,000円、飲み放題）

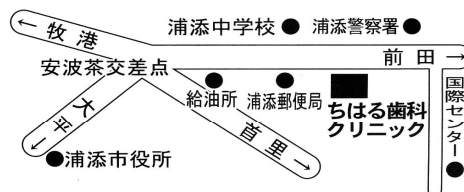
ちはる歯科クリニック CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています！

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保健施設等に入所（院）されている方、障害者施設に入所の方。

動作支援ロボットHALを使った歩行練習体験記

～サイボーグ型動作支援ロボット～

頸損者のように全身を動かせなくなる難病のギラン・バレー症候群を罹患した山川朝教さんがHALを使って約1ヶ月リハビリを行った体験記をご紹介します。

大分県別府市にある大分ロボケアセンター（以下ロボケア）でロボットスーツHALを利用したリハビリを受けてきた。


別府の施設でリハビリをしていた私は一度だけロボケアでHALを体験させてもらっていたが、その時の私のHALに対する評価は『HALは、あれば使いたいが、必ずしも必要ではない』という程度だった。その当時、短下肢装具を装着して両手にロフトランド杖を付けて歩行訓練ができるようにまでなっていた私は、これまでのトレーニングを続けるだけでも十分な気がしていた。しかし、私がHALを装着し歩く姿を動画で見た施設のPTさんは「通常の歩行訓練よりも歩様が良くなっていて、その分通常の訓練では動かさきれていない筋肉も動かしているのでは？」との見解だった。妻や義母も「ダメ元で挑戦したら？」と背中を押してくれたので、施設を退所して2ヶ月後の4月中旬に再び別府の地を踏むことになった。

ロボケアでは最新型の医療用HALがあり、それを利用してトレーニングを行った。そこで初めて知ったが、HALには少し型が古い介護用と最新の医療用がある。その大きな違いは、筋肉の収縮を感知するセンサーの感度と、動きをサポートするモーターの出力だ。もちろん、最新型の医療用はセンサーの感度が良く、脳から筋肉へ神経を通して伝達される「動け」という信号が小さくても感知できる。信号が小さいということは筋肉を動かす力も弱いので、

その足りない筋力をモーターが補い、結果立ったり歩いたりができるようになる。型が古い介護用のHALは医療用に比べると感度も出力も低いので、それを使ってトレーニングできるのは、ある程度の筋力がある人に限られる。一方、医療用HALは感度も出力も高いので、利用できる人も介護用よりは多くなる。今回私がロボケアで受けたトレーニングは滞在型集中HALトレーニングの4週間プラン。週5日、1日に1回90分のトレーニングが行われる。ただし、HALの着脱に15～20分ほどかかるので、トレーニングできる時間は1時間強になる。はるばる別府まで来たのだからその1時間強の時間フルでHALを装着してトレーニング！ということではない。HALを使うことが目的ではなく、あくまでも目的を達成するための一手段なので、HALを装着せずに行うトレーニングもある。人によってやることは違うと思うが、私の場合はHAL装着の前の準備運動としてパワープレートという台に乗り筋肉に刺激を入れ、その後自転車漕ぎをしていた。



さて、いよいよHALを装着してのトレーニングに入る。4週間という短い時間のため大きな進歩は期待できないと思ったので、イスから自力で立ち上がれるようになる筋力と正しい立ち方を学習すること的に絞って、立位、浅い屈伸、ベッドからの立ち



Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック

やまぐち

〒900-0003 那覇市安謝 1-10-28
TEL 098-864-1100

安らぎ・癒し・元気を提供します。


診療スタッフ

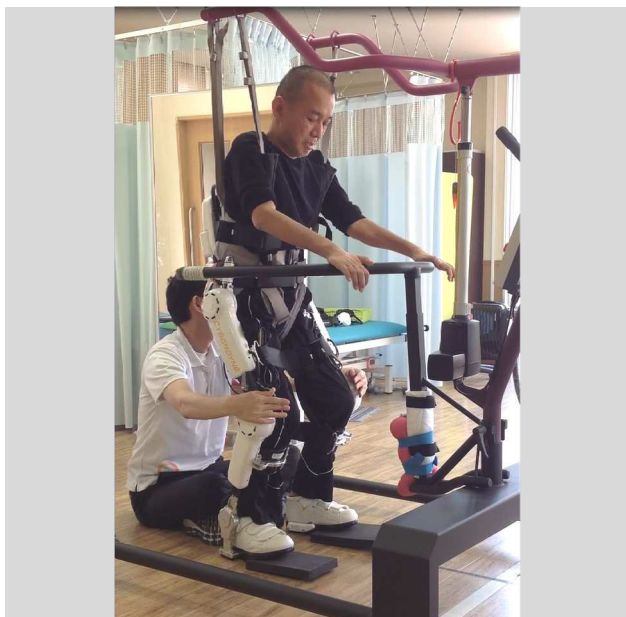
医師 院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医

リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:30	○	○	○	○	○	○
午後 2:00～ 6:00	○	○	○	○	○	○





HALにアシストしてもらいながら膝を完全伸展させるトレーニングを4週間続けた。その結果、自力では完全伸展の半分ほどしか伸びなかった膝があと10度弱のところまで伸ばせるようになった。また、ベッドからの立ち上がりも、当初は完全に腕力に頼った動作だったが、ロボケア終了直前には腕力依存度を半分程度まで抑え、しかも自然な立ち上がり動作を身に付けることができた。また、期間後半に行った歩行訓練でも、それまで極度に腕力に頼った歩き方だったのが、腕はバランスを取る程度の支えで済むようになるなどの成果があった。もちろん個人差はあると思うが、私の体験では予想以上の好結果だったので、今回のロボケアに行って良かったと思う。

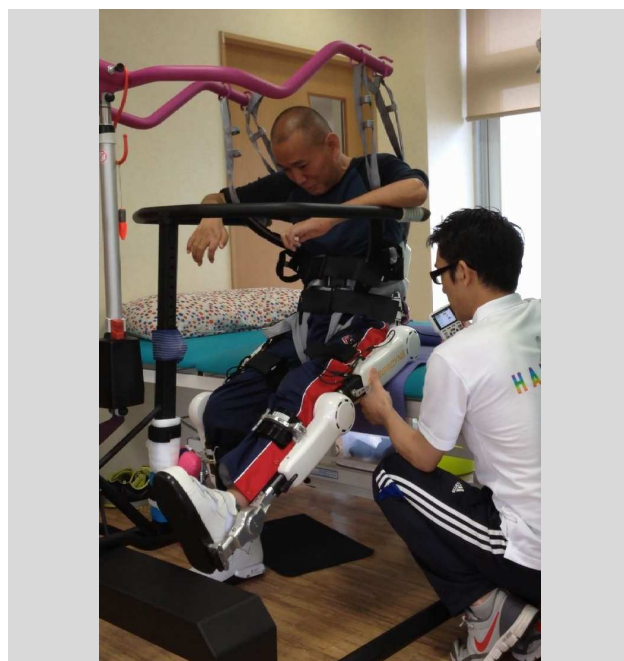
上がり、膝の完全伸展などのトレーニングを行った。トレーニング期間後半には歩行も加えた。

HALの装着は筋肉の収縮を感知する電極を体に貼ることから始まる。私の場合、下肢のHALなので大腿部や股関節、おしりに電極を貼った。その後、腰回りにハーネスを付け、オールインワンと呼ばれる吊り下げ棒付きの歩行器のような器具で体を吊り下げられた状態でHALを装着した。動きは若干ぎこちなくなるが、HALがアシストしてくれる分、楽に脚を動かせる。とは言っても、やはり自分の残存能力を使って動作しないといけないので、かなりいい運動になる。

前の施設のPTが言っていた通り、自力でのトレーニングでは動かせていない筋肉も鍛えられている印象があった。それが顕著に現れたのが膝の完全伸展のトレーニングだった。座った状態から膝を完全に伸ばし脚全体を水平にするには太ももの内側の筋肉の力が必要だが、私の場合そこがかなり細くなっていて力が出ないので、完全伸展まであと10度くらいのところまでしか上がらなかった。そのあと10度を

現在、HALは足関節と手首・指をトレーニングするタイプはない。また日本では保険適応外で、利用者には大きな金銭的負担がかかる。

これらの課題（特に後者）が解決して、もっと普及して欲しい。（山川）



いつも会費をお支払い頂きありがとうございます。まだの方は事務所へ直接お越し頂くか振込をご利用下さい。

会費納入の
おねがい

正会員
年間 6,000円

賛助会員(個人)
一口 3,000円

賛助会員(団体)
一口 5,000円

楽R天
楽天銀行

楽天銀行 第二営業支店（普通）7104311
トクヒ）オキナワケンセキズイソシヨウシャキョウカイ

沖縄銀行

沖縄銀行 石嶺支店 （普通）1520193
特非）沖縄県脊髄損傷者協会 理事長 仲根 建作

ながいおつきあい
りゅうぎん

琉球銀行 石嶺支店 （普通）445603
特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会 理事 仲根 建作

バリアフリースポット 糸満漁民食堂

糸満のファーマーズがある敷地の斜め向かいに、こじやれた平屋の建物がある。その前には『糸満漁民食堂』と書かれた大きなカンバン。店の名前からは魚くさい感じだが、店の外観はすごくきれいでオシャレっぽい。ランチする場所を探していた妻と私は、興味本位で入ってみた。

店の駐車場は7～8台ほどのスペースはあるが、身障者用専用のもはない。駐車場からいったん歩道には出てしまうが店の入り口までは段差はないのでスムーズに行くことができた。入り口に続く通路を車いすで移動していると、気付いてくれた店員が入り口で私たちを待ち受けてくれ中へ案内してくれた。おしゃれな店内。割と広い店内で、大きな窓ガラスから外の明かりが入ってきて、とても明るい雰囲気。座敷スペースが大きく取られている分、テーブル席は二人掛けのテーブルが4～5席ほどと少なめだが、段差はないのでスムーズに移動できる。

店の雰囲気や店員・料理人の姿からは洋食が出てきそうな雰囲気だが、肉料理はなく全て魚料理。



魚のバター焼や煮付けなどを料理してくれる。その日のランチメニューはマグロづくしで、いろんなマグロ料理が用意されていた。うれしいのは、どれも結構リーズナブル。私は本マグロ3種丼を、妻はマグロの目玉の煮付けを注文。どれもおいしかった。

トイレは狭し！トイレの間口も狭く車いすは入らないので、私は車いすを間口ギリギリに付けて便座に片手をつけてなんとか移乗できた。

- ・糸満漁民食堂
- ・糸満市西崎町4-17
- ・098-992-7277
- ・11:30～15:00、18:00～22:00
- ・定休日：火曜日

今後の予定

- ◆ 障がい者ITサポートおきなわ 会員向け説明会 (9/5)
- ◆ 第39回九州ブロック会議沖縄大会 男女共同参画センターにいる (10/3～4)
- ◆ 沖縄ハリケーンズ (車いすラグビー) 全国予選2 高知県 (9/12～13)



交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、
おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25T&C新都心ヒルズ804

弁護士 坂井大高(沖縄弁護士会所属)

【完全予約制】☎(098) 963-6268

※ご予約の際「しやりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。
移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。
相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用 など

発行人 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 一〇三八番地 編集人
沖縄県身体障害者福祉協会
沖縄県那覇市首里石嶺町四一三七三 沖縄県総合福祉センター西棟二F
ボランティア小規模団体室・NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会しやりん編集部
砂川昭人 購読料は会費に含む
頒価 二千円